

CONTENTS

川崎重工について	1 私たちの原点——社会の役に立ちたいという思い
	3 私たちの今——成長シナリオを着実に推進
	5 私たちの未来——グループビジョン2030の実現
	7 目次・編集方針
	9 事業理念
	11 事業規模

マネジメントメッセージ	13 グループビジョン2030
	17 重要課題(マテリアリティ)
	19 トップメッセージ
	25 担当役員メッセージ——財務・人材
	29 担当役員メッセージ——技術開発・DX

戦略とパフォーマンス	31 価値創造プロセス グループビジョン2030
	33 3つの注力フィールドにおける目標と実績
	35 エネルギー・環境ソリューション
	35 水素社会の早期実現
	39 CO ₂ 排出ゼロに向けた取り組み
	43 TCFD提言に基づく情報開示
	49 安全安心リモート社会
	51 近未来モビリティ
	セグメント別事業戦略
	53 航空宇宙システム
	55 車両
	57 エネルギーソリューション&マリン
	59 精密機械・ロボット
	61 パワースポーツ&エンジン

事業を支える基盤	63 重要課題(マテリアリティ)のKPIおよび実績
	65 人材活躍推進
	69 人権デューデリジェンスの取り組み
	71 コンプライアンス/情報セキュリティ
	73 コーポレート・ガバナンス
	83 会長・社外取締役座談会
	87 役員体制

財務・企業データ	91 10年間の主要財務・非財務データ
	93 財務諸表
	97 会社概要/株式情報/主要関係会社

社会課題の解決に挑み続ける川崎重工グループ

川崎重工グループは設立以来120年以上にわたって、社会課題の解決に貢献するために、常に最先端の技術に挑み、数々の「日本初」「世界初」を世に送り出してきました。創業の精神から発展したグループミッション「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」は、社会に対する川崎重工グループの役割を明文化したものです。

2030年の目指す将来像に向けた変革の決意

「成長性の追求」「適正な利益」「安定性・シナジー」を方針に掲げた「グループビジョン2030」を2020年11月発表。新たな時代の社会課題を見据えた成長シナリオにそって、将来に向けたビジネスモデル変革を推進しています。

3つの注力フィールドにおいて、社会にソリューションを提供することで成長を目指す

地球環境保護のための脱炭素社会の実現、先進国を中心とした高齢化社会・労働力不足への対応、医療などの地域間格差の解消、自然災害の抑止や早期復旧、エネルギーの安定供給など、さまざまな社会課題に対するソリューションをタイムリーに提供するため、3つの注力フィールドを設定しています。また、モノ売りからコト売りへのシフトなどのビジネスモデルの見直し、ポートフォリオ改革・組織改革にも取り組み、高収益体質を実現していきます。

セグメント別の成長シナリオと3つの注力フィールドに関わる製品・サービスの創出

パワースポーツ&エンジンなどの量産系事業が全社の収益を支え、航空宇宙システムなどの受注系事業が安定拡大することにより、「グループビジョン2030」の達成に向けた成長投資資金を確保し、当社グループの成長を牽引します。また、3つの注力フィールドを通じて社会課題の解決に貢献します。

最重要課題の達成に向けて経営基盤を強化

川崎重工グループでは、社会課題と自社の事業活動との関わりやステークホルダーにとっての重要度(インパクト)などを勘案し、重要課題(マテリアリティ)を特定しています。重要課題は「事業を通じて創出する社会・環境価値」と「事業活動を支える基盤」に2大別し、本業を通じた取り組みを「当社グループが長期で達成すべき最重要課題」と定義し、それ以外の課題を、最重要課題の達成に向けた「基盤項目」と位置付けて、取り組みを強化しています。

財務や非財務のデータに加えて、川崎重工グループの基本情報を掲載しています。

編集方針

川崎重工グループは、2013年度より、統合報告書として「Kawasaki Report」を発行しています。本レポートをステークホルダーの皆様とのコミュニケーション・ツールと位置付け、当社グループの社会価値創造と企業価値向上に向けた取り組み、経営方針、事業環境・戦略、および環境・社会・ガバナンスに関する情報(ESG情報)の主なものをお伝えしていきます。その他詳細な情報についても、当社Webサイトをご覧ください。

IR情報
<https://www.khi.co.jp/ir/>
サステナビリティ情報
<https://www.khi.co.jp/sustainability/>

Webサイトとの情報のすみ分け

環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する詳細情報やデータは、Webサイトを都度更新することでタイムリーに開示しています。

統合報告書 ←————→ Webサイト

対象期間
 2022年度(2022年4月1日~2023年3月31日)
 (注)一部2023年度の情報も含む

対象範囲
 川崎重工業株式会社および連結子会社104社、持分法適用会社20社
 (注)一部は単体情報

発行頻度
 原則年1回発行
 前回発行 2022年10月
 次回発行 2024年9月予定

お問い合わせ先
 当社Webサイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。
<https://www.khi.co.jp/corporate/contacts/>

- 参考ガイドライン**
- グローバル・レポートिंग・イニシアチブ(GRI)「サステナビリティ・レポートिंग・スタンダード」
 - 国際会計基準(IFRS)財団「国際統合報告フレームワーク」
 - 環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
 - 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」